

TRICOLOR

大会・公式戦結果

TOP

【県社会人サッカー2部リーグ】

vs 横浜 GS FC コブラ 2-2△

小6

【全日本 U-12 選手権 神奈川県大会】

vs 大豆戸 FC 0-1●

小4

【横浜国際チビっ子大会 U-10 決勝 T】

vs 田奈 SC-B 1-0○

vs 六浦毎日 SS-B 2-0○

vs 横浜 SC つばさ 0-3●

vs 横浜すみれ SC-S 3-4●

※総合4位

小3

【区リーグ】

vs FC ビッツ 3-0○

vs 横浜かもめ SC 1-2●

Papas

☆Comp

【県40雀1部リーグ】

vs 座間 40 0-1●

【県議長杯40雀】

vs 鎌倉 40 0-2●

☆Rec

【県議長杯50雀】

vs 平塚シニア 50 1-4●

今、グラウンドでは・・・

TOP

【県リーグ全日程終了】

県リーグ最終戦を行い、すでに1部昇格を決めている GSFC コブラと

2-2 で引き分けました。前半はかながわクラブの前からのプレスや、全員守備、全員攻撃など今までにない試合の入り方でしたが両チーム無得点、後半に入り先取点を取られたものの、不動のエース小野寺選手の得点と、PKを得て元 GSFC コブラの玉生選手の得点で逆転、しかし残り2分で同点にされて試合終了。

この結果、今シーズンは6勝5敗2分けで15チーム中6位の成績で全日程を終えました。振り返ると、序盤の下位チームとの戦いでの取りこぼしが、痛かったシーズンでした。しかし、チームとしては、今までにない一体感が出てきており、県リーグ後半にその結果が出てきたように感じた1年でした。

TOPチームはすでに来季に向けて動き出しており、新体制についても近々発表できる見込みです。

今シーズンも応援ありがとうございました、引き続き来シーズンも応援よろしく願いいたします。

(中本 洋一)

YOUTH/JUNIOR YOUTH

YOUTH、JYは11月に公式戦はありませんでした。YOUTHは県クラブユースが12月中に2試合、JYは来シーズンに向けて日々のトレーニングを頑張っています。

YOUTHの選手たちは一生懸命練習に取り組んでいますが、JYの子たちと一緒に練習をしているので、一人ひとりがリーダシップをとってほしいなと感じています。人任せにしている選手

がほとんどですし、自分から積極的にやってみようと思う選手が少ない気がします。その気持ちが現状プレーに現れていて、練習から体を張る選手、走りきる選手がいないです。遠慮せずにもっと自分を出していきましょう。

JYの選手たちはYOUTHと練習をしています。スピードやフィジカルでは負けていますが頭で考えて予測してプレーできている選手もいます。ボールを受ける位置を工夫し、相手に触れられないようにプレーしてみてください。

最近では小6とも練習を行っています。小6が中学生と一緒にプレーすることはかなり難しいです。小6の子たちは一生懸命プレーをしています。JY選手にとってもメリットはあると感じております。JYの選手たちがいろいろと教えてあげて、お互いに気持ちよくプレーしていきましょう。

(今川 暉一朗)

小6

全日本 U-12 サッカー選手権神奈川県大会では3回戦目にTOPリーグに所属する大豆戸FCと戦いました。結果は0-1で負けてしまいましたが、セットプレーでの失点、チャンスも多く作れたこと、なにより選手たちが全力を出して最後まで戦い抜いたことは素晴らしいことだと思います。次に繋がる負けだったと思います。

保護者の皆様、箱根まで送迎のご協力をしていただきありがとうございます。年明けには日産カップが控えています。今回も会場が遠いので送迎

のご協力をお願いしたいと思います。引き続きよろしくお願ひいたします。

最近では浦島丘中でトレーニングする機会が増えてきています。JYの選手たちともトレーニングをしています。JYの選手たちのプレーを間近で見ると吸収して今後のサッカーに活かしてください。JYの選手相手だということも通りのプレーはできません。その中で、どうプレーしていくか、考えながらプレーしてください。

年明けは日産カップが始まります。年明けの活動再開は早めとなりますが、みんなで頑張っていきましょう。この大会も負けたら終わりのトーナメント形式です。悔いの残らないようプレーしていきましょう。

(今川 暉一朗)

小5

11月は保土谷公園の「みんなのパークフェス」に大口台小学校の「ぐっこ祭り」と、2つのイベントの運営を行いました。

参加した小5選手は、みんな来場者である幼児や小学生や大人の方とコミュニケーションをとり盛り上げて、やるべきことを判断して、自発的に良く行動することができていました。

普段は自分勝手な発言や行動が見受けられる選手も、本当に良く考えて行動することができており、非常に誇らしく感じました。2つの運営に携わったことは、コーチ、選手にとっても非常に良い経験となりました。

みんなで協力してイベント運営を完遂できたことは、チームの結束を固めることにも繋がりましたし、もちろん今

後のサッカーのプレーにも繋がっていると確信しています。

怪我人や体調不良が続いてしまい、なかなか全員揃っての活動ができておりませんが、参加した選手は伸び伸びと元気にプレーできており、少人数でボールに触る回数も多く確実に基本技術を向上することができております。

年明けから始まる市長杯に向けて、引き続きトレーニングしていきます。

(豊田 泰弘)

小4

日頃よりクラブの活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

先日国際ちびっ子サッカー大会の決勝トーナメントが終了しました。結果は4位と悔しい結果に終わりましたが内容としてはチャンスもありつつ流れを手繰り寄せきれず、課題がはっきりした2試合だったと感じています。1番印象に残っているのはセットプレーからの失点だと思います。これに関しては普段の自分たちのキックの技術にも関係してくると思っています。普段強いボールが飛んでくる経験があるかどうか、試合でそういった経験をどれだけしているかで強いボールへの恐怖心や対応が変わってくると思います。我々としてもそういった環境を用意していくことでの改善に取り組んでいく予定です。

また攻撃に関しては、相手を見て、丁寧に自分たちの技術を発揮すること、狙いを持ってゴールを奪いに行くことはボールを扱うオンの技術の向上も含めて取り組んでいければと思っています。

います。

年が明けるとまたトーナメント形式の大会が始まります。試合までの時間は限られています。より良い成績を残せるよう取り組んでいきます。

(青木 達也)

小3

区リーグとTRMにつきましては、参加した選手全員を出場させ、選手たちには一人一人が1プレーでも良いプレーができるように、ミスを恐れずに思い切ってプレーするように伝えてピッチに送り出しました。結果的には厳しく悔しい結果となってしまいましたが、内容的には選手たちの気持ちが伝わる熱い試合となりました。試合終了後には、悔しくて涙を流している選手や、悔しい表情をしている選手が多くいました。

また、自信を持ってプレーしてくれている場面も多くみることができてました。ふざけすぎでしまったり、集中力が続かない選手もいたり、まだまだ改善点は沢山ありますが、伸びしろも大きいと感じております。日々の活動を通して少しずつ修正していけたらと思っています。

(栗城 聖也)

小2

【試合の意味】

公式戦はやや意味合いが異なる部分があると思いますが、普段の交流試合では、試合をする意味を、普段の活動時に練習してきたことがどれくらいできるのかを試す機会と捉えてい

ます。学習に例えるならば、予習や復習といった勉強が「練習」にあたり、試験(テスト)が「試合」と言えるでしょうか。サッカーの練習も学習もできないことをできるようにする(解らないことを解るようにする)という点では全く同様と言えます。

2年生では、港北小学校で練習してきたことの習熟度や定着度を測るために、1か月に最低1度の試合を組むように心がけています。浦島小学校が使える都合もあり、土曜日に試合を実施することが多くなりますが、上記の普段の活動の習熟度や定着度を測るためという趣旨をご理解いただき、積極的にご参加いただければと思います。

当然、試合の勝敗は大事ですが、保護者の方々には、単に勝ち負けのみに拘ることなく、普段の活動で行ってきたことがどれほどできたのかという視点で観戦してください。そして、子どもたちがミスした際には励まし、良いプレーは思い切り褒めるというスタンスを忘れずに応援していただければと思います。

【試合の中でも成長が…】

最近の試合の中では、指導者(コーチ)が口を出すまでもなく、子ども立ち同士で問題を解決しようとする場面が見られるようになってきました。頼もしい限りです。当初は、ミスした子に文句を言い、それに対して言い返すことで、諍いが起きることもありました。しかし、最近では、「けんかをするなよ!」とか「文句を言うなよ!」と諷める声が聞こえるようになりました。また、失点が続くと、お互いに声を掛け合い

ながら、失点しないためにはどうすれば良いかを考える姿勢も見られます。試合をしながら成長している証です。

問題があった場合に、大人(指導者)が頭ごなしに注意をしたり、アドバイスを与えたりすることは簡単ですが、それでは子どもたちの心に何ら響きません。その場しのぎで終わってしまいます。百歩譲って子どもたちの目線に立ち、一緒に問題解決の方法を考えようという姿勢を見せることで多少の効果は期待できます。しかし、それでもまだ十分とは言えません。最も効果的なのは、子どもたち自身が問題点に気がつき、自分たちで問題解決の方法を模索することなのです。そういう意味でも、子どもたちは心身共に成長していると言えます。

【試合で自己表現を…】

試合中には、問題解決のための声掛けばかりでなく、パスを要求する声やマークを促す声なども聴かれるようになりました。少しずつサッカーが分かり始めています。パスを要求することは、ボールを受けた後の自己のプレーに責任を持つことであり、仲間にマークを促すことはゲーム全体の流れを俯瞰できるようになったことでもあります。サッカーの試合に限らず社会生活を営むうえでも、自分はどのように考えているのかを相手に伝えること(自己表現)は大事ですし、仲間がどのように考えているのかを言葉や表情から読み取ろうとする(理解しようとする)ことも同じくらい大事です。ですから子どもたちには、今後も積極的に声を出しながらプレーをしてほしいものです。そうすることで、仲間を信頼

することや自己のプレーに責任を持つことも徐々に覚えていくはずです。大人のサッカー(!?)への第一歩です。

【サッカーは格闘技! ?】

メールで送っている試合の詳細の持ち物欄に「戦う気持ち」と記載していた時期がありました。かながわクラブの子どもたちは、概ね上品で優しい性格のようですから、試合の中で、相手の反則すれすれの、或いはほぼ反則の体のぶつけ合いを避けたり、球際の激しさに欠けたりするようになっていた時期に記載していた言葉です。

しかし、最近の試合では、そうしたこともなくなり始めていますので、記載することをやめました。勿論、まだまだ全員とは言えませんが、怖気ずに球際で激しく戦う姿勢が見られるようになってきている子どもたちもいます。決して乱暴なプレーを奨励して、粗暴な選手に育てようとしているわけではありません。サッカーというスポーツのルールの中で、チームが勝つために自分が何をしなければならないのかを考えて、時に激しく相手と競り合うことの必要性を理解できるようになるということです。頭(脳みそ)でサッカーをするようになってほしいと思います。

【個人の技術の向上】

ここ数回この紙面で同じことを書いています。それは個人の技術の向上がチーム力のアップにつながるということです。試合に勝つためには、チームとして戦いますので、選手一人一人が1対1の局面で勝つ必要があります。つまり、勝つためには、多少

時間がかかりますが選手個々の技術が向上すれば良いということになります。足の速い子をハーフラインに待たせ、力の強い子にボールを大きく蹴り出させて、ゴールを狙うといった方法で勝利を得ようとするのは簡単です。しかし、かながわクラブでは、時間はかかっても、敢えて一人一人の技術の向上を目指し、個人の技術に裏付けされたサッカーを追求しています。低学年の年代では、子どもたち全員を技術で勝負できる選手に育てたいのです。今の時期に技術が身につくのであれば、この先ずっとサッカーを楽しむことができます。プロの選手になる可能性も生まれますし、一生サッカーを楽しむこともできるのです。

(佐藤 敏明)

幼児・小1

徐々に寒くなってきておりますが、選手たちは元気に活動に参加してくれています。練習や試合において、積極的にプレーに関与できる選手が増えてきています。体も動くようになり、ボールにも慣れてきて、元気で積極的なプレーが多くみられるようになってきています。周囲の状況を判断したり、今やるべきことを判断したり、周りの選手に配慮することができるような場面も徐々に増えてきており、今後のさらなる成長が非常に楽しみです。

12月も引き続き練習に对外試合にと活動していきたいと考えております。試合においては結果に一喜一憂し過ぎずに、出来るようになったことに目を向けていただき、暖かい声援を引き

続きよろしくお願ひいたします。

(豊田 泰弘)

Papas

【2024年度Comp】

2024年のCompは3年連続1部での挑戦でした。

前半7試合終了時は、6勝1敗勝点18で2位につけていましたが、厚木・多摩・鎌倉に僅差での敗戦となり、また、最終戦の座間40にも0-1で敗れ最終結果は6勝5敗の勝ち点18得失+2の6位と昨年の4位から順位を落とす結果となりました。

議長杯の1回戦はリーグ戦で0-1で敗戦している鎌倉四十雀との対戦でした。当初ギリギリ11人で試合に臨むところ発熱で1名を欠き10名で挑みましたが0-2での敗戦でした。

これでKSSLの今季日程はすべて終了いたしました。横浜市リーグの順位戦が12月21日(土)谷本公園で実施されます。皆さま体調・スケジュールの調整をお願いいたします。

KSSL全日程を無事終了することができ、メンバーの皆さま及びクラブには感謝いたします。

【KSSLシニアリーグ登録締切】

Over50 2025年度の登録ですが、12月31日が締切になります。今年は現在登録中の皆さま方の継続・移籍・休部(退部)の確認をさせていただきます。

新たに40歳・50歳以上になる皆さま方の新規登録は来年度の開幕までに順次行わせていただきたいと思います。

また、横浜市リーグ及びCompにつ

きましては別途確認をさせていただきます。

(瀬長 義男)

ヨーガ

【ベ이스ターズ優勝!!】

野球の話になりますが、今年はDeNA ベ이스ターズが日本シリーズを制して日本一となりました。

知る人ぞ知る私は DeNA ベ이스ターズファンなので、優勝が決まってからは本当にうれしく、ウキウキした気分で過ごすことができます。

ヨーガの参加者の方々にも「優勝おめでとうございます。」とお声掛けいただくことも数知れず(笑)そんなにベ이스ターズ押しの話をしてきたのかしらとも思いますが、きっと察しの良い皆様には私の気持ちはお見通しだったのだと思います。

11月30日に行われた優勝記念パレードには30万人もの人が集まり喜びに盛り上がった様子は沢山のメディアでも取り上げられていました。集まった人々だけでなくもっと多くのベ이스ターズファンも喜びに浸ることができるのですから素晴らしいことだと思います。

いろいろと重たい気持ちになることもある世の中です。これは常ともいえると思います。でも、ベ이스ターズが優勝することによって元気や勇気をもらった人は沢山いると思います。

私もヨーガのクラスの前後で悩みや苦勞を打ち明けてくださりお話を聞くことも少なくありません。直接の問題解決となることを提供することは難しい場合も多いです。でも、楽しく明る

い気持ちになれる、リラックスできる時間や空間をご提供することはできません。

これからも皆様の元気の素となれるようなレッスンをご提供したいという気持ちを新たにしました。ベ이스ターズみたいに!!

(伊藤 玲子)

伊藤玲子先生のCD 新発売！
聴く！グナヨーガ

聴く！
グナヨーガ
チェア

収録時間：52分
ボース写真入りブックレット
8ページ

聴く！
グナヨーガ
フロア

収録時間：59分
ボース写真入りブックレット
12ページ

★お買い求め方法
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階
 TEL: 045-482-2215
 坂田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、
 徒歩5分
 TEL: 045-321-3653
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。
<http://www.gunayoga.com>
 ③アマゾン (amazon) からご購入いただけます。
 ④アイチューン (iTunes) からご購入いただけます。

各1575円(税込)販売中



日本テレビ出演



YOKOHAMA
ANDO
 SPORTS

アンドウスポーツ

内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号